

平成 28 年度 指定管理者制度導入施設の管理運営状況について

都市計画課

1 施設の概要等

施設名	広島県立びんご運動公園		
所在地	尾道市栗原町997		
設置目的	備後地域住民のスポーツと多様なレクリエーション活動の振興		
施設・設備	健康スポーツセンター、陸上競技場、テニスコート、野球場、球技場、コミュニティープール、冒険の森、多目的広場、オートキャンプ場など		
指定管理者	4期目	H28.4.1～H33.3.31	イズミテクノ・RCC文化センター・シンコースポーツ共同企業体
	3期目	H23.4.1～H28.3.31	ポラーノグループびんご
	2期目	H20.4.1～H23.3.31	ポラーノグループびんご
	1期目	H17.4.1～H20.3.31	尾道市

2 施設利用状況

利用状況	年度	目標値 [事業計画]	入場者数	対前年度増減	対目標値増減 (達成率)
	4期	28	683,039人	683,225人	11,280人
	3期平均 23～27	667,914人	671,945人	19,073人	4,031人(100.6%)
	2期平均 20～22	656,450人	652,872人	22,544人	△3,578人(99.5%)
	1期平均 17～19	610,560人	630,328人	43,388人	19,768人(103.2%)
	16(導入前)	—	586,940人	—	—
増減理由	○尾道松江線の開通による利便性の向上 ○積極的な広報活動及び利用者ニーズに合った自主事業の実施				

3 利用者ニーズの把握と対応

調査実施内容	【実施方法】	【対象・人数】
		アンケートの実施
	利用者意見箱の設置	一般利用者 (200名), スポーツ団体 (15)
	受付での聞取(随時)	スポーツ団体 (25)
	【主な意見】	【その対応状況】
	トレーニング機器が老朽化している	トレーニング室をリニューアルオープン(H28.10.1)
	TOPS広島能力向上スクールの継続	好評なことから平成29年度の継続実施を決定した
	イノシシ被害で地面が荒らされている	被害を受けた地面(一部)を補修した

4 県の業務点検等の状況

項目		実績	備考
報告書	年度	○	事業報告書
	月報	○	月次業務報告書
	日報(必要随時)	○	事故等報告書
管理運営会議(随時)	【特記事項等】 各施設(建物)、設備の老朽化対策が課題。 【指定管理者の意見】 ・利用者増と安全な施設運営の取組を実施する。 ・設備保守を強化する。		
現地調査(6月, 9月, 11月, 1月に実施)	【県の対応】 維持修繕にあたっては、事前に県と十分協議し、連携しながら実施するよう指定管理者に指導した。		

5 県委託料の状況

(単位：千円)

県委託料 (決算額)	年度		金額	対前年度増減	料金 収入 (決算額)	年度		金額	対前年度増減
	4期	28	156,000	7,714		4期	28	73,079	6,018
	3期平均 23~27		148,286	△214		3期平均 23~27		67,061	1,920
	2期平均 20~22		148,500	△18,751		2期平均 20~22		65,141	4,993
	1期平均 17~19		167,251	△6,508		1期平均 17~19		60,148	△1,605
	16 (導入前)		173,759	—		16 (導入前)		61,753	—

6 管理経費の状況

(単位：千円)

項目		H28 決算額	H27 決算額	前年度差	主な増減理由等
入	県委託料	156,000	151,374	4,626	指定管理者の提案額どおり
	料金収入	73,079	68,852	4,227	利用料金制 (※1) トレーニング室リニューアルに伴う利用者の増
	その他収入	9,678	10,340	△662	自動販売機売上等の減
	計(A)	238,757	230,566	8,191	
出	人件費	76,505	58,211	18,294	プールの直営化による増
	光熱水費	63,766	63,578	188	夏季少雨対応等による水道料の増
	設備等保守点検費	18,101	14,245	3,856	施設の老朽化等による保守・点検箇所 の増
	清掃・警備費等	73,848	72,448	1,400	芝生管理費用の増
	施設維持修繕費	3,146	3,654	△508	修繕箇所の減
	事務局費	12,237	4,874	7,363	折込チラシ・広報誌制作、事務機器、 事務用品等の初期経費
	その他	12,604	10,083	2,521	体育用品、ユニフォーム、ホームページ 制作等の初期経費
	計(B)	260,207	227,093	33,114	
収支①(A-B)		△21,450	3,473	△24,923	
自主事業 (※2)	収入(C)	13,246	6,366	6,880	スポーツ教室等の開催 (収入)
	支出(D)	16,761	7,890	8,871	広報費用・講師謝金等 (支出)
	収支②(C-D)	△3,515	△1,524	△1,991	
合計収支(①+②)		△24,965	1,949	△26,914	

※1 利用料金制：公の施設の使用料について、指定管理者が直接使用料等を収入することができる制度。
指定管理者の自主的な経営努力を発揮しやすくする効果が期待され、地方公共団体及び
指定管理者の会計事務の効率化が図られる。

※2 自主事業：指定管理者が自らの責任で、更なる施設サービスの向上のために提案・実施する事業

7 管理運営状況

項目		指定管理者 (事業計画, 主な取組, 新たな取組など)	県の評価
施設の効用発揮	○施設の設置目的に沿った業務実績	<ul style="list-style-type: none"> ・J Tサンダースなどトップアスリートによる「TOPS広島能力向上スクール」(全10回)を実施した ・県東部地区初の「エクストラアイスリンク」(氷のないスケートリンク)を期間限定(10月~12月の土日祝)で設置した。 ・テニス, 水泳, ヨガ教室など, 多彩なスポーツ教室を一年中開催し, 施設の利用促進につなげた。 ・SNSやケーブルテレビ等を活用し, イベントの情報提供や利用者とのコミュニケーションを図った。 ・安全確保や利用者サービスの観点から, 早急な修繕が必要な箇所については県と連携しながら迅速に対応した。 	<ul style="list-style-type: none"> ・トップレベルの選手や団体による「TOPS広島能力向上スクール」事業を開催することで, スポーツの普及や地域活性化に取り組んでいる。 ・「エクストラアイスリンク」の設置により, 新しいスポーツの体験する機会を提供することができた。 ・利用者ニーズに合致した自主事業を実施し, スポーツの振興と備後地域の広域交流の促進に努めている。 ・SNS等の活用により, イベント等の情報発信を多頻度実施し, 利用者の利便性向上に努めている。 ・施設設備の劣化状況を把握し, 優先度や工法について適切な提案を行ったほか, 計画的な修繕に努めている。
	○業務の実施による, 県民サービスの向上		
	○業務の実施による, 施設の利用促進		
	○施設の維持管理		
管理の人的基礎	○組織体制の見直し	<ul style="list-style-type: none"> ・共同企業体3社のノウハウや専門技術を持ち寄ることで, 管理運営の効率化に努めた。 ・指定管理者変更に伴う初期経費のほか, 芝生の品質強化やHPの360度バーチャルツアー, トレーニング室のリニューアル等, 長期的な視点に立って投資を行った結果, マイナス収支となったが, 今後の事業計画を実施する上での基盤ができたと考えている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・共同企業体のメリットを生かし, 適材適所に人材を配置し, 効果的な組織体制を確保している。 ・芝生の品質管理の高さが新聞で取り上げられるなど, 一定の評価を得ており, これが施設の売りとなって利用促進につながることを期待される。 ・トレーニング室のリニューアルにより利用者が約3割増えており, 投資の効果が表れている。
	○効率的な業務運営		
	○収支の適正		
総括		<ul style="list-style-type: none"> ・指定管理者の変更に当たり, 認知度を高めるため, 積極的な広報を行った。 ・長期的な視点に立った積極的な投資を行うとともに, 様々な自主事業を年間を通じて実施した。 	<ul style="list-style-type: none"> ・指定管理者1年目であったが, 認知度向上に向けた積極的な広報活動と様々な自主事業の開催等により, 施設の利用促進に努めており, 適切に管理運営が行われている。

8 今後の方向性(課題と対応)

項目	指定管理者	県
短期的な対応 (平成29年度)	<ul style="list-style-type: none"> ○利用者の安全確保を最優先した施設の維持管理 ○多様なメディアを活用した広報活動や, ネットワークを活用した多種多様な自主事業の開催等による利用促進 	<ul style="list-style-type: none"> ○老朽化により, 発生頻度を増す施設・設備の不具合については, 利用者の安全確保を最優先に, 指定管理者と連携しながら対応する。
中期的な対応	<ul style="list-style-type: none"> ○長期修繕計画に基づく修繕工事を実施し, 施設の維持管理に努める。 ○施設の特徴を生かし, スポーツ以外での幅広い利用促進する取組をする。 	<ul style="list-style-type: none"> ○公園修繕方針により作成した長期修繕計画に基づき, 施設・設備の修繕等を実施し, 効率的な施設の維持管理に努める。